

日本建築学会北海道支部 2012 年度第二回支部役員会 議事録案

記録：森

日時：2012 年 10 月 23 日（火）18：30-20：00

場所：北海道建設会館建築学会支部事務所

出席： 支部長：岡田

常議員：安藤，海藤，佐伯，最上、森，大條、大谷、後藤，齊藤，田村，
前田，渡邊

代議員：星野

監事：平尾、駒木

総務委員長：小澤

事務局：菊地

次回 12/11(火)17:30-幹事会， 18:30-常議委員会

司会 齊藤

《報告事項》

1、前回常議員会議事録の確認

資料 2-1/森

会議終了時まで確認を行い，議事録について承認した。

2、理事会・支部長会議報告（支部長より）

資料 2-2/岡田

理事会に関して岡田支部長より報告があった。

3、支部経理報告

資料 2-3/小澤

小澤総務委員長より収支計算書に関して説明があり予定通りの執行（前年度と同様の執行状況）が行われているとの説明があった。

岡田支部長からグラフにできないかとの要望があったが，それほど難しい資料ではないので却下された。

4、「北海道建築設計会議」の報告について

資料 2-4/田村

合同イベントの開催を持ちかけられている。（相談会等）アンケートが来ているので役員会メンバーにメールで送付するので意見を頂きたい。

5、第 37 回北海道建築賞の報告について

資料 2-5/齊藤

建築賞に関して報告があった。

11/2 に受賞式が北海道大学遠友学舎で実施される。

6、特色ある支部活動について

資料 2-6/齊藤

特色ある支部活動に関する説明があった。対象となる研究は「大雪による建物倒壊危険度判定方法の策定」で，当該研究は常議員会の下に特別委員会を実施している研究であるとの報告があった。

7、2012 年度道内工業高校巡回講演会

資料 2-7/佐伯

旭川工業高校で「北海道の建築家、その活動の歴史」80名参加で実施され、次回12月に帯広工業高校で実施予定である。

8、各専門委員会の活動報告（委員会代理人）／森
各専門委員会の活動に関して報告された。

《審議、承認事項》

9、支部規程の改正について 資料2-8／岡田

下記の支部規定の改正について説明があった。

第10条支部役員の補充に関して

議論の上、変更なしとした。

第15条支部役員会の構成・任務に関して

後藤常議員より「要請」とはどのような状況かという発問があり、岡田支部長が①委員会からの情報で一般会員が知っておいた方がよい情報がある場合、②なにか問題があった場合に説明を求める場合（例えば、耐震偽装があったときに構造委員会の方にきてもらって話し合った。そういう機会にできないか）等であると回答した。

議論の結果承認された。

第14条選挙の方法に関して（選挙細則）

立候補や推薦の意味がなくなってしまうとの意見があったが、北海道支部では実態としてそれほど影響がないので承認することとした。

10、東日本大震災復旧復興地域まちづくりのための提言(案)について（資料2-2）／岡田
北海道支部からの意見を求められている。斉藤委員より各専門委員会のメンバーに提言を伝えて意見収集をすることとした。収集方法はメールで斉藤委員に送付することとした（件名に東日本といれて11/9までに送付）

11、材料施工、構造専門委員会主催合同見学会について 資料2-9／斉藤

資料に基づき報告された。

12、環境工学専門委員会主催見学会について 資料2-10／斉藤

資料に基づき報告された。

13、建築計画専門委員会主催実態調査（アンケート）について 資料2-11／斉藤

資料に基づき報告された。

岡田支部長より、このアンケートは昨年度からの継続調査で研究室の活動との分別するため、実施趣意書を出していただいた旨が報告された。（建築学会の対外的な活動に関しては常議員会の手続きが必要なため）

14、次期役員選挙（代議員および常議員）について 資料2-12／斉藤

選挙日程に関して説明があった。

15、後援、依頼について 回覧資料

以下の件について回覧により承認された。

- ①北海道大学より「サステイナブルキャンパス構築のための国際シンポジウム」
- ②（公社）日本コンクリート工学会北海道支部より「コンクリートの日 in HOKKAIDO
出前講座 大学から実務者へ～技術情報の発信と情報交換」
- ③（社）セメント協会より「コンクリートセミナー」
- ④NPO 歴史的地域資産研究機構より「NPO 歴史的地域資産研究機構設立記念行事」
- ④北海道より「平成 24 年度地震防災セミナー」
- ⑤（社）日本建築家協会北海道支部より「JIA 北海道支部建築技術セミナー
身体感覚で学ぶ建築環境性能」（支部環境工学専門委員会後援）
- ⑥（一社）北海道建築技術協会より「講演会：鉄骨造建物に関する近年の話題と
東日本大震災」

16、その他

今年度の支部の活動方針について議論を行った。角前支部長からの引き継ぎ検討事項は以下の二点である。

1.会員増強

2.報奨制度（技術賞）

1.に関して若手会員，企業会員をどのように増強するか議論した結果①会員になることのメリットを示すべき，②地方での活動が皆無では入会しないため，地方会員と札幌周辺会員とのギャップを埋めるべき等の意見があり，今後，支部役員を中心に WG を作ることでできないか検討することとなった。

以上